

解脱房貞慶の世界

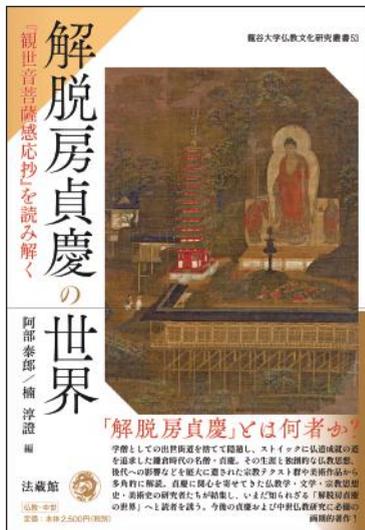
『観世音菩薩感応抄』を読み解く

龍谷大学仏教文化研究叢書53

あべ やすらう くすのき じゅんしょう
阿部泰郎・楠 淳證編

▼46判・並製カバー・386頁 定価 二、七五〇円

2024年9月刊行



鎌倉時代の名僧・貞慶の生涯と仏教思想、後代への影響などを、貞慶に関心を寄せてきた諸分野の研究者たちが結集し、多角的に解説。

【目次】

序章 解脱房貞慶を尋ねて「阿部泰郎」

第一章 貞慶の生涯とその著作「阿部泰郎」

第一節 修学と通世／第二節 勧進と勧請／第三節 観音值遇
／第四節 興隆と帰依／第五節 仏道希求の生涯／*コラム
貞慶と澄憲「牧野淳司」

第二章 『観世音菩薩感応抄』解説——行者の信仰実践の書

楠 淳證

序／第二節 『観世音菩薩感応抄』の著者と伝持者——貞慶と宗性／第三節 貞慶の信仰の構造——浄土を見る／第三節 西方願生者でもあった貞慶——久しく願望を係く／第四節 観音信仰への転入——決智を生ず／結／*コラム 講式に込めた貞慶の願いと無常の詞「阿部美香」

第三章 『観世音菩薩感応抄』への多角的アプローチ

第一節 貞慶の実践志向を探る——浄土思想と補陀落往生を中心に「松田淳」／*コラム 貞慶の講式に見られる諸信仰の意義
「楠 淳證」／第二節 貞慶における往生言説と春日浄土観——文学的テクストの視座から「近本謙介」／*コラム 『観世音菩薩感応抄』と春日大明神「春日御本地尺」を媒介に考える「高橋悠介」／第三節 笠置寺般若台の造形と構想——貞慶の通世と実践をめぐる「松井美樹」／*コラム 貞慶における観音信仰と春日本地説の造像——檀像をめぐる「瀬谷貴之」

終章 貞慶の記憶とその遺産「阿部泰郎」

付録1 貞慶主要著作解説(五十音順)
「阿部美香・阿部泰郎・楠 淳證・後藤康夫・西山良慶・蜷川祥美・松田淳」

編集後記「楠 淳證」
執筆者一覧

◆編者略歴

阿部泰郎（あべ やすらう）

龍谷大学世界仏教文化研究センター・招聘研究員、名古屋大学高等研究員客員教授、専門は宗教文化遺産テクスト学。主な著作に『聖者の推参——中世の声とワコなるもの』(名古屋大学出版会、二〇〇一年)、『中世日本の宗教テクスト体系』(名古屋大学出版会、二〇一三年)、『中世日本の世界像』(名古屋大学出版会、二〇一八年)、『中世日本の王権神話』(名古屋大学出版会、二〇二〇年)、『ハーバード美術館 南無仏太子像の研究』(共編著、中央公論美術出版、二〇二三年)がある。

楠 淳證（くすのき じゅんしょう）

龍谷大学文学部教授、専門は仏教学、とくに唯識教学。主な著作に『心要鈔講読』(永田文昌堂、二〇一〇年)、『貞慶撰『唯識論尋思鈔』の研究——仏道編』(法藏館、二〇一九年)、『貞慶撰『観世音菩薩感応抄』の研究』(共著、法藏館、二〇二一年)、『貞慶撰『唯識論尋思鈔』の研究——「別要」教理篇・上』(共編著、法藏館、二〇二二年)、『貞慶撰『唯識論尋思鈔』の研究——「別要」教理篇・上 解説・索引』(編著、法藏館、二〇二四年)がある。

注文書	様冊
(書店印)	ご担当
阿部泰郎・楠 淳證編	法藏館 定価 二、七五〇円
解脱房貞慶の世界	住所
『観世音菩薩感応抄』を読み解く	お電話
ISBN: 978-4-8318-6289-1 C1015	お名前

ご注文はFAX: 075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
https://pub.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp

仏教・中世